



# 日本の科学技術分野における 女性研究者の促進：傾向と戦略について

山口しのぶ  
東京工業大学  
学術国際情報センター  
2010年9月20日

## 目次

1. ジェンダーバランスに関する日本の位置づけ
2. 日本の科学技術分野におけるジェンダー問題
3. ジェンダー問題への対応策としてのプログラム  
および 政策
4. 動向とまとめ

# 1. ジェンダーバランスに関する日本の位置づけ

## グローバルなジェンダーギャップの指数 (134か国のランキング)

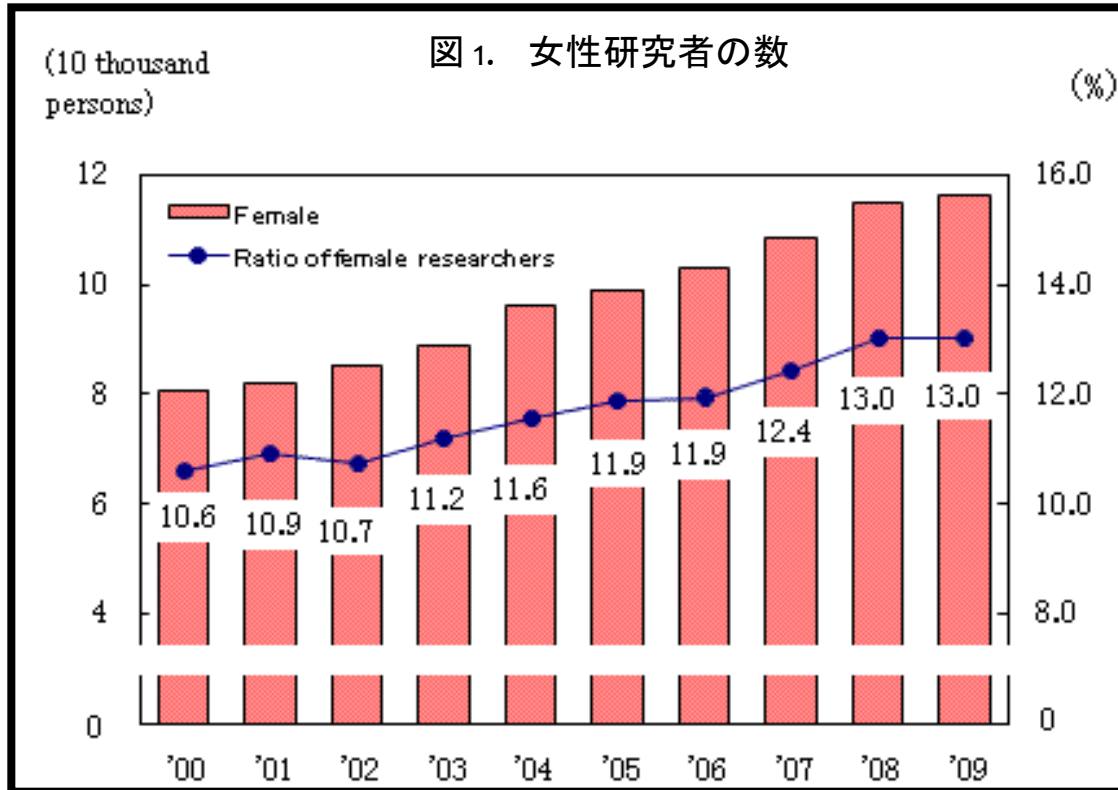
Country	2009 rank	2009 score	2009 rank among 2008 countries	2008 rank
Iceland	1	0.8276	1	4
Finland	2	0.8252	2	2
Norway	3	0.8227	3	1
Sweden	4	0.8139	4	3
New Zealand	5	0.7880	5	5
South Africa	6	0.7709	6	22
Denmark	7	0.7628	7	7
Ireland	8	0.7597	8	8
Philippines	9	0.7579	9	6
Lesotho	10	0.7495	10	16
Netherlands	11	0.7490	11	9
Germany	12	0.7449	12	11
Switzerland	13	0.7426	13	14
Maldives	99	0.6482	97	91
Malaysia	100	0.6467	98	96
Japan	101	0.6445	99	98
Senegal*	102	0.6427	n/a	n/a

グローバルジェンダーギャップ指数の3つの基本的概念:

1. ジェンダー間の格差に焦点をあてる.
2. 平均値ではなく、アウトカムの格差に焦点をあてる.
3. 各国ランキングは女性の権限よりジェンダー平等に基づく.

## 2. 日本の科学技術分野におけるジェンダー問題

### 2.1 比較的少ない女性研究者



- ・ 研究者の総数  
839,000. (2009.3.31)
- ・ その内,女性研究者  
116,100 (13.0 %)

## 2. 日本の科学技術分野におけるジェンダー問題

### 2.2 比較的少ない女性研究者

#### 女性研究者が少ない原因要素

- 1 女性の仕事としての子育てへの責任
- 2 比較的少ない就職機会
- 3 科学技術分野における女性学生はまだ小数

## 2. 日本の科学技術分野におけるジェンダー問題

### 2.2 地位およびR&D資源分配における不均等

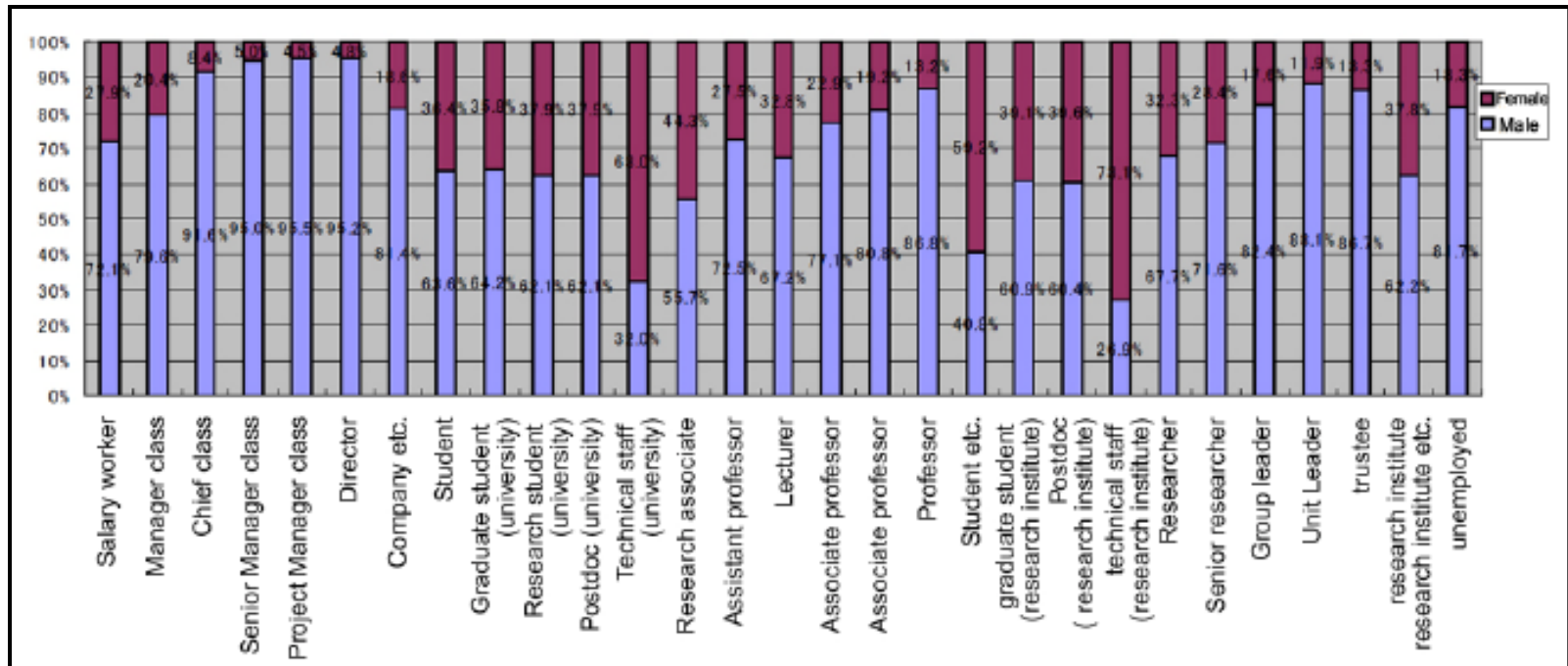


図 2. 各研究分野における研究資金

## 2. 日本の科学技術分野におけるジェンダー問題

### 2.2 地位およびR&D資源分配における不均等

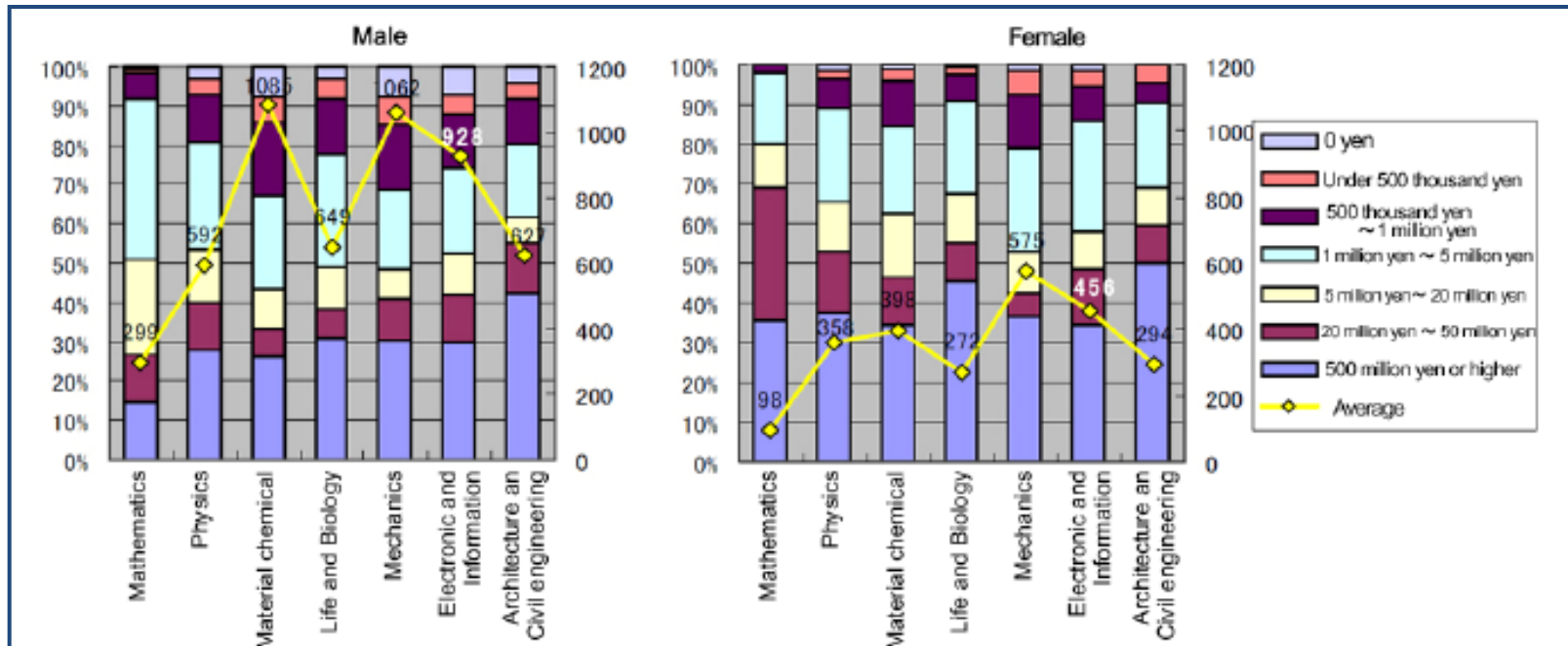


図 2. 各研究分野における研究資金

### 3. ジェンダー問題への対応策としての プログラム / 政策

- 3.1 男女共同参画学協会連絡会 (EPMEWSE)
- 3.2 第三期科学技術基本計画 (FY 2006-2010)
- 3.3 科学技術振興調整費



## 3. ジェンダー問題への対応策としてのプログラム / 政策

### 3.1 EPMEWSE

- 日本学術会議(SCJ)にて、2002年に組織
- 60以上の 科学技術団体 / 協会で構成
- 文部科学省との連携のもと、科学技術分野の職業における男女平等に関する実情調査を実施(2003年, 2008年)
- アドボカシー(主張見解):
  - ✓ 女性研究者のセカンドキャリアへの復帰を奨励
  - ✓ キャリアパス選択へのサポート情報を提供
  - ✓ 保育サポートシステム活用の促進

# 3. ジェンダー問題への対応策としてのプログラム / 政策

## 3.1 EPMEWSE

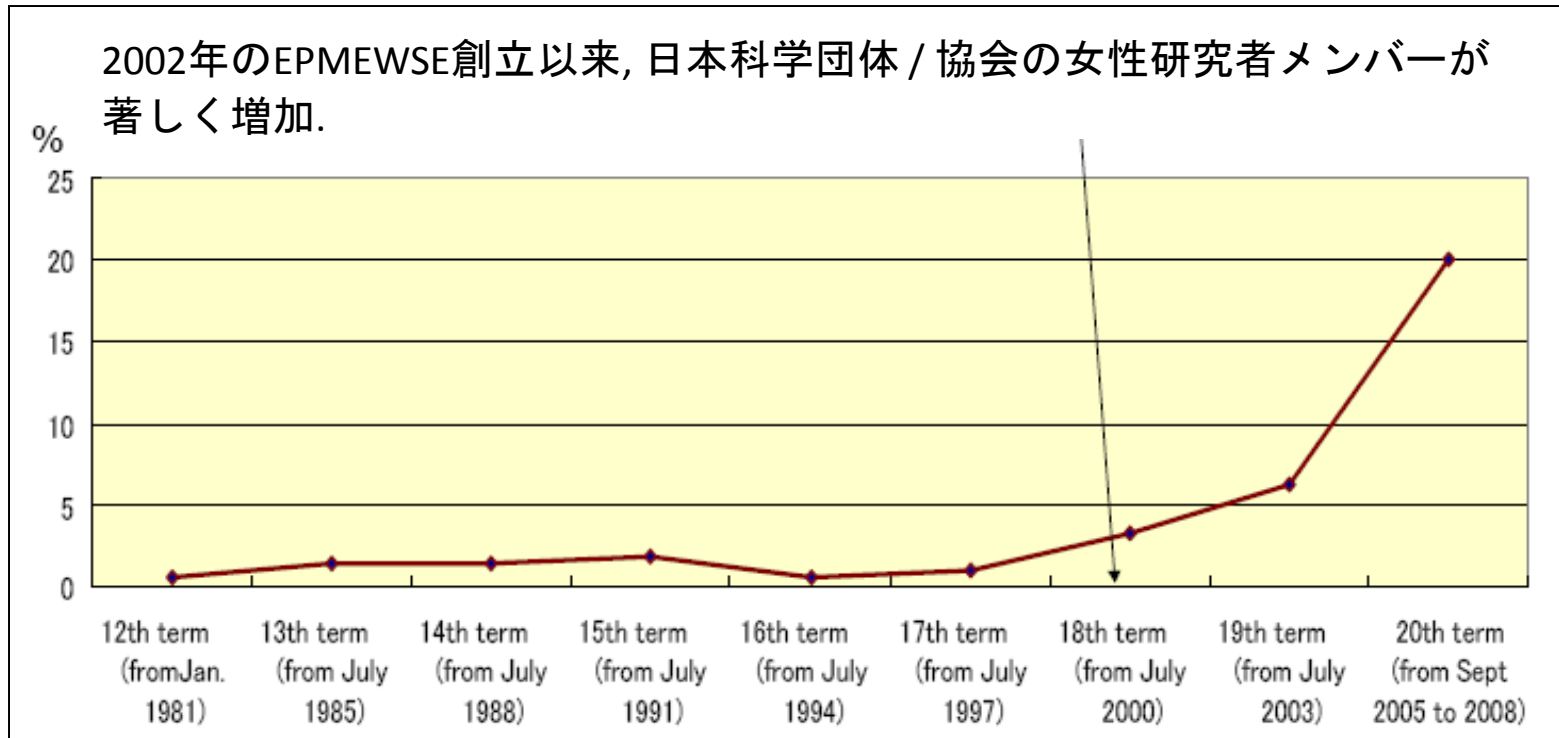


図3. EPMEWSEが設立後の影響

# 3. ジェンダー問題への対応策としてのプログラム/ 政策

## 3.2 第3期科学技術基本計画 (FY 2006 – 2010)

組織	支持
1. 大学や公共研究機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バランスの取れた研究と育児のサポートを提供</li> <li>・ 女性候補者への公正な採用を実施</li> <li>・ 政策決定機関への女性研究者の参加を促進</li> </ul>
2. 政府機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学技術分野における女性の活躍を奨励する情報を応報</li> <li>・ 女性研究者の優れた実践とロールモデルを持つ組織をサポート</li> </ul>
3. 全ての組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性研究者の採用に対して数字目標を設定</li> <li>・ 関連分野の女性博士課程学生の割合を設定(望ましい数は25%)</li> <li>・ 競争的資金獲得に際して、出産による一定の休暇期間を承認</li> </ul>

## 3. ジェンダー問題への対応策としてのプログラム/ 政策

### 3.3 科学技術振興調整費

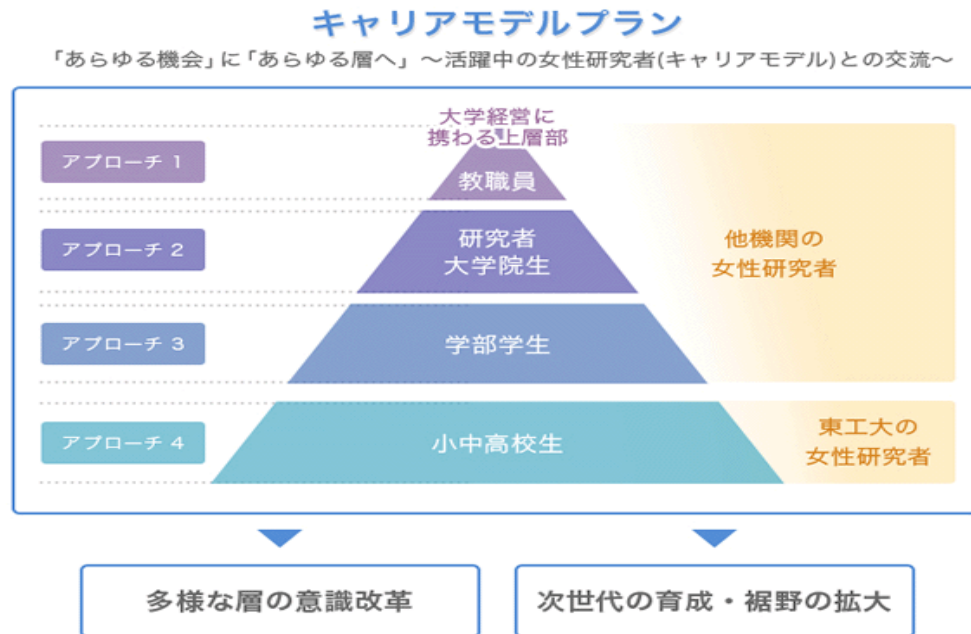
女性研究者をサポートする文部科学省のモデル  
プログラム

- ✓ 女性研究者に対してソフト面・ハード面のインフラ環境を整備，充実する
- ✓ 人生において，仕事と生活のバランスを維持できる様にサポートする（出産，子育て，介護など）

# 3. ジェンダー問題への対応策としてのプログラム/ 政策

## 3.3 科学技術振興調整費

### 東京工業大学の事例 “LEAP”



キャリアモデルプラン:

科学技術分野の女性キャリアモデルとの交流を通じて、様々な機会を提供する

図 4. LEAPのキャリアモデル計画

# 3. ジェンダー問題への対応策としてのプログラム/ 政策

## 3.3 科学技術振興調整費

### 東京工業大学の事例 “LEAP”

#### オーダーメイドタイプ支援プラン

～女性研究者が必要な支援を選択～



個人のニーズに沿ったサ  
ポートプラン作成

女性研究者らが必要と  
するサポートを選択する  
機会を提供する

図 5. LEAPの注文仕立てのサポート計画

## 4. 動向とまとめ

- 4.1 女性大学院生・研究者の増加傾向はポジティブ！
- 4.2 大学、研究所、企業での女性サポートを促進する  
持続的・包括的な努力が必要.
- 4.3 国際的、アジア規模での女性ネットワークは、  
女性が重要な社会的役割を担う機会を引き出す  
機会となる.

## 参考文献

EPMEWSE (2008). Large-Scale Survey of Actual Conditions of Gender Equality in Scientific and Technological Professions, July 2008. Available online, [http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/doc\\_pdf/h19enquete\\_report\\_en.pdf](http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/doc_pdf/h19enquete_report_en.pdf)

MIAC (2008). Results of the Survey of Research and Development. Ministry of Internal Affairs and Communications, Statistics Bureau Director-General for Policy Planning and Statistical Research and Training Institute. Available online, <http://www.stat.go.jp/english/data/kagaku/1536.htm>

Ogawa, M. (2005). The Present Condition and Problems of Women in Science and Technology in Japan. Available online, <http://www.oecd.org/dataoecd/47/38/35776236.pdf>

Tokyo Institute of Technology (2009). Leading and Promoting Program for Women Researchers in Science and Engineering (LEAP). Available online, [http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/doc\\_pdf/h19enquete\\_report\\_en.pdf](http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/doc_pdf/h19enquete_report_en.pdf)

UNDP (2007). Human Development Reports, Composite Indices. Available online, <http://hdr.undp.org/en/statistics/indices/>

World Economic Forum (2009). The Global Gender Gap Report 2009. Available online, <http://www.weforum.org/pdf/gendergap/rankings2009.pdf>





Thank you very much!